県立美術館整備の取組状況について

令和 2 年 2 月 10 日 博物館

1 これまでの検討経緯

平成29年3月 鳥取県立美術館整備基本構想を策定

平成30年5月 県有施設・資産有効活用戦略会議(BTO方式によるPFI手法の導入が有効)

平成30年7月 鳥取県立美術館整備基本計画を策定

平成30年11月 鳥取県教育委員会公募型プロポーザル方式受注者選定等審査会(美術館整備運営事業)を設置

令和元年 7月 入札公告

令和2年 1月 (9日) 県民参加型公開プレゼンテーション・事業者ヒアリング

(10日) 審査会で最優秀提案を選定

(15日)審査会の選定結果を踏まえ、落札者を決定・公表

2 事業計画(基本計画等)

(1) 事業用地

鳥取県倉吉市駄経寺町2-3-12 外

敷地面積:17,983㎡

(2) 事業方式

PFI (BTO) 方式

Build-Transfer-Operate の略。民間事業者が公共施設等を建設し、施設完成直後に公共 に所有権を移転し、民間事業者が維持管理・運営を行う手法をいう。

(3)業務範囲

・設計・建設業務 ・開館準備業務 ・維持管理業務 ・運営業務

(4) 事業期間

事業契約締結日から 2040 年 3 月 31 日 (整備 5 年間、運営 15 年間 計 20 年間)

(5) 施設設備(諸室)の整備概要

展示	収蔵	教育普及	調査研究	共用事務	合計
		コミュニケーション		管理	
2,610 m ²	2,070 m ²	760 m²	290 m²	4, 180 m ²	9, 910 m ²

3 落札者

大和リースグループ (代表企業:大和リース(株)山陰営業所、

設計業務:(株)竹中工務店広島支店、(株)槇総合計画事務所)

(落札金額:14,265,981,372円 消費税及び地方消費税を含む)

4 提案内容

別紙「提案書概要版」のとおり

*入札参加者が、県民参加型公開プレゼンテーション用に公開に付しても差し支えない内容としてまとめたものです。

5 美術館整備局の設置

中部地域に美術館整備局を設置し、地元と連携しながら開館に向けた準備を進める。

6 今後のスケジュール

令和2年3月 ・事業本契約の締結(議決事項)

令和2年前半~・設計及び建設工事・開館準備

令和6年度中 · 開館

7 美術館開館に向けたソフト事業 (令和2年度の計画案)

事業内容	内 容		
「美術ラーニング	○デジタル鑑賞教材の学校授業活用、小学生のバス招待、美術大学生		
センター (仮称)」	による黒板ジャック、夏休み子ども企画展の開催等により美術に触		
機能の充実に向け	れる機会の創出		
た検討事業	○小学校の新規採用教員研修での専門講座の開催		
	○鳥取看護大学・短期大学との連携協定による大学授業での博物館		
	(美術館) 活用、対話型鑑賞ファシリテーター養成研修等の実施		
「私たちの県民立	○「アートの種まきプロジェクト」として、美術館づくりを伝えるフ		
美術館」普及啓発事	リーペーパーの発行、アート系ワークショップの開催		
業	○地域団体等の活動支援		
	○芸術・文化関係者とディスカッションを行う「ミュージアム・サロ		
	ン」の開催		
	○県立博物館の美術コレクションの展示・解説等を行う「コレクショ		
	ン宅配便」の開催		
美術館等協力連携	○鳥取県ミュージアムネットワーク加盟の美術系文化施設の学芸員		
推進事業	研修会、共同企画展の実施		